



第82回国労定期全国大会が7月25日～26日、伊東市「ホテルじゅらく」で開催されました。

今年の大会は、闘争指令1号が出され、全国で組織拡大の取り組みが展開、各職場・地域の状況や拡大達成の報告が出されました。そして、JR貨物の賃金抑制、夏季手当の回答について、職場の実態などの報告や意見が出されました。二日間、経過報告・一般討論など、全体で33名の代議員から発言がありました。



NO. 794  
発行  
2013・8月10日  
国鉄労働組合  
新潟地方本部  
発行責任者  
関川 和彦  
編集責任者  
教 宣 部

# 組織拡大と労働条件の改善を

## 闘う労働組合として 運動を進めていこう

10時に大会が開会し、田中副委員長から開会あいさつがありました。

「政治情勢と労働組合の状況について・日本の労働運動の役割は重要・共同行動、春闘の取り組みなど、なかなか弱い実態だ。労働組合としての社会的使命、闘う労働組合として運動を進めていこう。貨物の賃金抑制・経営上の労使間の協議が無い。国労への説明が無い・夏季手当の1・1ヶ月の回答は極めて不当だ。他労組は妥結している実態、会社の施策に就いて国労はチェック機能を果たしていくこと。要求の多数派から闘っていくこと」とありました。



**第82回国労定期全国大会**  
7月25～26日

## 代議員全員の出席

資格審査委員会から発言があり代議員の選出、特別代議員の選出について全体で確認されました。代議員58名中58名の出席、特別代議員・役員全員の出席を確認しました。



議長団選出  
東京・宮崎代議員  
仙台・佐藤代議員

議長に東京の宮崎代議員、副議長に仙台的佐藤代議員が選出されました。

## 将来を決する大会だ

宮崎議長からあいさつがありました。

「国労がおかれた現状から、闘争指令1号についてどう受け止め全国で取り組んでいるのか。緊急課題として組織拡大は重要だ。労働運動がわからない青年が増えていく。管理者の指示でサービスマン労働が強いられている。時間外労働をしていくが超勤請求がされていない。法違反についての認識がされていない実態だ。時間外労働は、ちゃんと請求していくことを声かけを行い是正している。分会集いでも意思統一を図っている。どんな職場でも共通する課題だ。共に考え行動する。国労としての活動スタイル。職場の状況から共に考え行動することは重要だ。そのことから組織拡大への実践を進めていこう。国労組織の将来を決する大会だ。それを議論し学びあい意思統一する大会だ。」

その後、大会役員を選出、大會議事日程の説明があり、石上執行委員長のあいさつ・各来賓のあいさつがありました。

## 常任弁護団 宮里弁護士あいさつ

安倍総理の3本の矢は国民に対してリスクの矢だ。憲法問題と労働法制について  
参議院選挙結果で自公の圧勝、憲法改正に必要な2/3を超えた。→改憲。  
憲法制定62年～最大の改憲の危機にある。護憲派が今まで1/3以上の議席を確保していたので改憲を阻止してきた。自民党は改憲によって根本原理を変質させることになる。基本的人権の後退は非常に問題、重大な危機だ。

97条は、基本的人権について本質になっている名文だ。自民党案は97条を削除している。理由は言っていない。自民党は反組合主義、改憲論者だ。

労働法制について  
派遣法～自民党は、雇用形態によって格差・貧困・規制緩和の再規制による労働法をまた元にもどす。解雇について金銭的解雇を導入、金銭で解雇が可能になる。  
残業手当の支払い・残業代0法案を導入させる。雇用のあり方ー「限定社員化」。派遣法の改正が1985年・制定していろいろな仕組みを作って常用だいかいもしないこと・これも廃止。同じ雇用形態があっても同じレベルにする。(正社員・パート・派遣)。非正規のさらなる拡大・長時間労働・さらにすべてに拡大していく(労働法制)・労働者にとって厳しい内容になっている。

憲法～労働法制に対して国民のレベルの運動が必要だが労働組合の役割は重要だ。職場の権利・労働条件改善、また職場の外の問題についても取り組んでいくことは重要だ。



# 書記長 集約



組織拡大～闘争指令1号を出した。今日まで全国で拡大行動が取り組まれた。エリア本部・地方本部・地区本部は組織拡大が前進した。しかし満足はしていない。これからも、オルグなど展開し情報の共有化など行っていく。他労組との交流を深めていくこと。

500名の退職、組織減少の中で全体の議論から新たな一歩、前に出していく。機関として全体で取り組んできたか。そして安心・安全で働ける職場環境をつくっていくことも重要だ。粘り強く取り組んでいこう。

共闘～国鉄闘争で多くの共闘組織から協力・支援していただいた。政治課題や憲法、反原発の闘いなど安心して暮らせる世の中を目指すため、共闘運動・さまざまな団体と中央、地方と連携をしていく。

春闘～職場、地域での共闘の闘い、アンケート調査・貨物の構造矛盾の改善に向けて取り組んでいく。貨物の賃金抑制は認めることはできない。1・1ヶ月の夏季手当回答は許さない。国交省へも要請していく。ルール使用料の問題や分割民営化からの問題など国の責任だ。

JR北海道の車両事故～原因の究明と実態を把握していくこと。情報を共有していく。安全問題と三島・貨物問題も取り組んでいく。

福島原発事故～現地では復旧・復興していない。放射能問題は深刻な状況だ。復興は加速していない。15万人がふるさとに帰れない。原発事故・一日も早い復興を目指す。2年以上経って労働組合として何をしてきたのか・連携を取って取り組んでいく。

参議院選挙は自公の圧勝となった。その背景から原発を再稼働させない国民の声は大きくなっている。米軍の普天間基地の移転問題など課題は多くある。憲法改正問題について、護憲・脱原発・反戦平和の闘いを民主団体と共に闘っていく。



## 経過報告 についての発言

●JAL争議支援・現在は高裁で闘っている。勝利を目指し闘っていく。全国キャラバンが各地で取り組まれている。共闘・共同行動を進めていこう。そして脱原発の闘いも強めていこう。闘争指令1号が出された。組織拡大が全国で展開されているがまだ極めて不十分だ。

●組検く今まで専従役員の配置について1年間議論してきた。昨年から具体的な議論をしてきたが今回も同様の議論をするのか。

●今まで具体的に議論してきたのに、どうして結論が出されないのか。

●昨年も組検について議論し1年間が経過した。しかし結論が出ていない。組織のありかたとして間違っている。責任問題になるのではないのか。11回の組織検討委員会の議事録を示して欲しい。



## 編集後記

全国大会を特集し編集しました。次号に続き一般討論も含めて記載します。内容については不十分だと思えます。後ほど発行される「国鉄新聞」を参照してください。



●春闘～闘いは自らの要求で自らの闘いで運動を進めていく。3月に各地区協の独自行動の実施、中央行動の取り組み、駅頭宣伝行動など行った。

2013年春闘時に国労本部・エリア本部へ撤布を送った。春闘総決起集会など開催されたが本部からの指示が遅い、早期に指示を。

組織拡大～組織強化拡大経験交流集会へ参加し交流を深めた。闘争指令1号の重要性について議論した。駅から1名拡大した。役員だけの行動では駄目だ、全体が取り組める状況を作っていく。エルダー社員の待遇改善、労働条件改善についてやりていくこと。全体で考える作風を考えていくこと。

